

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
予約購読料 1年分 千共 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話
03(3202)0546 FAX03(3207)3918
発行人 愛澤 豊重
編集主筆 竹澤 知代志

教区総会報告 ①

四国・九州・西中国・京都・北海



6名の准允式を執行、於：福岡中部教会

多様化する各教区の課題

五教区の報告を読んだ時点での感想にすぎないが、協議事項が実に多様だ。共通して取り上げられている課題は少ない。各教区を横断する主題は見えて来ない。教団総会が開催されない年であることも一因だろうが、矢張り、地域の特異化が進み、自然、対応も多様化しているように思われる。多様化する課題を、宣教というフォルダにまとめることは可能なのだろうか。

総額二六五〇万円の互助予算

四国

第65回四国教区定期総会は、四月三〇日から五月一日まで、今治湯ノ浦ハイッを会場として開催された。開会時に、議員一五五名中一二五名が出席した。開会礼拝・組織会の後、議長メッセージがなされた。野村忠規議長は、厳しい現状の中にある今こそ主の支えの原点に立ち直し、教区の活動・自立連帯献金の推進に取り組んでいきたいと述べた。また、中越地震被災支援への協力を呼びかけた。

第一日は主として昨年度の報告がなされた。議事と並行して教区三役の改選がなされ、議長に野村忠規氏(松山城東、副議長に黒田道郎氏(石井、書記に黒田若雄氏(須崎)が引き続き選任された。また、常置委員の選出及び各部委員の選任も行われた。議事後夕食時、教区の青年が自主制作した自立連帯献金支援曲「御国を仰いで」の讃美が青年有志によってなされ、議員一同に対して大きな励みとなった。

夕食後、「私と四国教区」信徒から見える四国教区の姿」との主題で協議会が行われ、三名の信徒から発題がなされた。安宅登代子氏(石井)は、教区教会婦人会連合や自立連帯献金推進委員会の働きを担う中で、教区の活動や各教会の交わりの姿を知らされ、そのことが自らの信仰生活に大きな意味を持ったと述べた。尾崎七郎氏(近永)は、互助がいかに教会を支えてきたか、近永教会の具体的な姿に触れつつ語った。その

上で、現状に喜ぶ一憂せず、導きを信じて伝道の取り組みを続けていきたいと述べた。松中伸介氏(宇和島中町)は、教区青年会活動を通して自ら育てられてきた経過を語り、教区青年の交わりが各教会を覚えていくことに大きく繋がっていることと述べた。三氏の発題やその後の協議を通じ、各教会を支え、各教会間の交わりを深化させていくことが、教区の重要な働きであることと深く受け止めさせられる時となった。

第二日は二名の逝去教師の追悼式、四名の教師の准允式から始まった。議事では、まず教団問安使挨拶の質疑が行われ、小林真問安使に憲法第九条の改正の動きに対しての教団の取り組みなどについて質問があった。続いて、昨年度活動報告の質疑がなされた。その中で、教区議長が「沖繩教区との相互訪問」再開を感謝し、今後も継続を模索していきたいと述べた。また、〇八年度互助受給教会が大幅に増える見通しに対する常置委員会での協議についても報告がなされた。更に、新旅費規程に基づく教区予算、十六教会へ総額約二六五〇万円を支援する



自立連帯献金支援曲「御国を仰いで」の讃美

荒野の声

▼数年前のこの欄に、寄席に閑古鳥が鳴いている話を載せた。昼席では私も夫婦を含めて五、六人ということもあった。▼いかにも素人臭い前座は、何度もトチリ、客種が悪いとまともに断は出来ない愚痴をこぼしてから、高座を下りた。もう一人の若手は、肝心の断には入らず、客いちに終始した。あたかも妻に世間話を仕掛けていくという形で、即興断を作り、少ない客から爆笑を引き出した。その後登壇する断家は皆、これを踏まえて妻に挨拶し、さんさんからかい、いつてから断に入った。客も少しづつ増えたが、人数以上に盛り上がった。上手いものだ。▼私も夫婦は、貸し切りのお座敷で接待を受けたような気分、懐に余裕があったらご祝儀をはずみたいところだった。▼別な機会。矢張り一〇人足らず、この時、いちりのその同じ断家が、客の入りなど意に介せず、淡々と古典に取り組んだ。上手い。うなづいた。▼今、寄席の前には若者が行列をなしている。テレビ番組の影響か。教会もそのうち：守り続けていさえすれば。

共生、連帯、平和を柱に

宣教基本方針制定

九州

第57回九州教区総会は、五月一三日、福岡中部教会を会場に開催された。開会礼拝では、宣教協力している在日大韓基督教教会西南地方会、宣教協約を結んでいる韓国基督教長老会群山老会の皆様と聖餐式を共にできたのも喜びであった。礼拝後、正議員二四六名中一二二名、准議員十九名の出席が確認され、開会が宣言された。

主な議案では次の六件が審議された。①受允者承認に関する件。議場での承認後、六名の准允式が執行。②現在設置されている「原理運動」統一協会」問題特設委員会とセクシアル・ハラスメント対策特設委員会を継続設置することが提案、可決された。③九州教区宣教基本方針制定に関する件。前回総会で提示された案通りの方針案(〇七)

十六年度が提案され可決された。④九州教区宣教基本方針制定に関する件。共生、連帯、平和を柱とする二二項目からなる〇七〇八年度の同方策が提案され原案通り可決された。⑤按手礼式執行方法に関する件は継続審議となった。⑥教団の宣教課題に九州教区として取り組みを続ける件。第35回教団総会で否決や廃案とされた「合同のとらえ

直しと沖繩教区との関係回復」「同性愛者差別問題」等の諸議案を教団・教区の重要宣教課題と位置づけ、次期教団総会への再提案を視野に入れて九州教区の取り組みを継続してゆくことを決議する旨の提案がなされ可決された。

教区総会議長選挙、副議長選挙が行われ、議長に西畑望教師(大分)、副議長に深澤奨教師(佐世保)が選出された。議長、副議長とも二期目となる。書記には福島義人教師(小倉東篠崎)が選出された。

山北宣久教団問安使挨拶に対して質疑がなされた。第35回教団総会についての抗議と要望、議長総括報告「所見」の撤回要求、セクシアル・ハラスメント防止ガイドラインについての質疑と要望、九州教区議長名の質問状として出された。また、当教区で起こったセクシアル・ハラスメント事件への教団の対応を求める要望について、教団

から担当幹事が当該教会に出向く予定であることが述べられた。さらに富田正樹著「信じる気持ち(はじめてのキリスト教)」について、教団議長名で教団出版局に宛てて回収、出版停止、廃刊を求める文書が送付された事に対して、この文書の撤回を要求する厳しい指摘が議長よりあった。

【教職】梅崎浩二(岸川)、戸田奈都子(川内、原和人(長崎銀屋町)、吉武二郎(別府野口)、本多香織(直

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

教団問安使の准議員推薦巡り議論

西中国

第56回西中国教区定期総会が、四月三〇日(月)～五月一日(火)、東広島市の西条グランドホテルを会場に開催された。

冒頭から質疑が相次いだのは、前回に引き続き今回も教団問安使に関してであった。議事においては、常置委員会よりの推薦准議員の承認の際である。

総会直前に開催された常置委員会は、送付されてきた教団総会議長による「2007年度教区総会への挨拶」の特に「2. 正しい聖礼典の執行」に対して批判的「見解」を現すと共に、教団問安使の准議員推薦に当たっては、この「挨拶文」に沿った挨拶は受けないことと「挨拶文」に関する議論もしないことを条件に議場に推薦した。

議論は直接にはこの提案を巡って為されたが、これまでの経緯として前回教区総会では教団問安使の准議員を認めなかったことや、その直後に帰ってしまった教団問安使の振舞い、また直前の常置委員会に出されていた「准議員として推薦しない」「憲法改正に賛成しない」「『憲法改正』に反対する決議」をおこなう件」(以上、常置委員会提案)、「2006年12月25日及び2007年4月27日に7人の死刑囚の死刑が執行されたことに抗議

総会書記の《儀礼的挨拶》を受け議論を控えた。

定例議案以外で可決された議案としては、『西中国教区教職謝儀互助資金』制度改正に関する件、「教区事務所所在地を2009年度に固定化するよう準備する件」、

「『憲法改正』に反対する決議」をおこなう件」(以上、常置委員会提案)、「2006年12月25日及び2007年4月27日に7人の死刑囚の死刑が執行されたことに抗議

紙面の都合上、これ以上記すことはできないが、結果、常置委員会の提案通り議場は、教団問安使の教団

し、西中国教区として改めて死刑制度の廃止を求める為に具体的に取り組む件、

「西中国教区として『ウラン兵器全面禁止と被害者支援・被害調査』を日本政府に求める件」、「西中国教区が宣教の課題として『農

五月三日(木)～四日(金)、第71回「合同」後41回京都教区定期総会が行われた。開会礼拝では「チムグリサ(沖縄の言葉で「断腸の思い」に近い言葉)」と題して説教が行われ、聖餐式が執行された。



数多くの議案審議に取り組む、写真は按手礼式

宣教基本方針策巡り活発な議論

京都

とのかかわりを改めて確認する件」、「第35回日本基督教団定期総会で起こった『同性愛者に対する差別発言』について、西中国教区として『差別発言』であるという認識にたち、教区内であらためて同性愛者差別についての認識を深め、諸教会・伝道所での同性愛者に対する差別をなくす為に具体的な取り組みをおこなう件」、「4月23日より行わ

れている沖縄・辺野古における米軍新基地建設の事前調査に強く抗議し、新たな基地建設を阻止するために教区として引き続き具体的に取り組みをおこなう件」(以上、議員提案)。

同じく定例以外で常置委員会附託となった議案は、「イラクからの自衛隊即時撤退を求める件」、「西中国教区として、米軍再編に伴う岩国基地の機能強化を断

固阻止すべく更に取り組みを推進する件」、「上関原発建設計画の中止を求める件」、「西中国教区は、教会内でも引き起こされているセクシュアル・ハラスメントをいのちと尊厳に関わる事柄であるとの認識を深め、教区常置委員会として具体的な取り組みを行う件」。

【信徒】西澤宏(広島牛田)、島敏史(宇部緑橋)、浦部頼子(小郡) (小畑大作報)



京都教会を会場に総会開催、活発な議論展開

南が再選された。書記は議長に付託された。

多くの時間を割いて議された「京都教区宣教基本方針」一部改訂に関する件」では今までの方針に加えて「教会の父権性支配構造を問い直す」、「憲法二十条改悪に反対する」、「各個教会・伝道所の連帯を深め、互助の充実を図る」等が盛り込

また、「同性愛者差別問題をはじめとする性的少数者差別問題と取り組む」という表記について「今まであった『性同一性障害』の表記がなくなった経緯」について質問がなされ、関係委員から「同性愛者と性同一性障害」と混同される事を避け、区別を明確にする」という説明がなされた。最終的に宣

た、問題への取り組みが、教団内の差別問題と深く関わっており、それが同性愛者に対するものであることについても言及された。また、宣教基本方針の意味付けに対して「最終的に各法人に任せるというのでは意味がないのでは」という質問が寄せられ、活発な議論がなされた。

【第35回(合同後第20回)教団総会における『総会議長総括報告』に対して抗議する件」では、議長の記事に対して「抗議するのではなく削除を求めるべき」

【「教区総会への挨拶」にも、「総括」の内容に触れた部分があり、そこにも触れておくべき」との見解が示された。添付する別紙にその見解を反映することとして、教団総会議長に抗議することが承認された。

【教職】山田真理(上鳥羽)、大澤宣(紫野)、入治彦(京都)、美藤章(近江八幡)、竹ヶ原政輝(丹波新生)、関雅人(大津東)、奈良いずみ(西が丘)

議長総括巡り盛んに意見のやりと

北海

第67回北海教区定期総会は、四月三〇日(月)から五月一日(火)まで、札幌教会を会場に行われた。また、開会礼拝では、高橋真衣子(余市)、高塚和彦(江差)の按手礼式と、清水明次(札幌北光)の准允式が執行された。

議長総括では、高橋真衣子(余市)、高塚和彦(江差)の按手礼式と、清水明次(札幌北光)の准允式が執行された。

すなわち、①前年度の教職講座で聖餐をめぐる字句を行ったことに関連して、排他的、対立的に論議するのではなく、さまざまな角度から聖餐を考える場が保障されることが大切であること、②「合同のとらえ直し」に関連して、教団信仰告白再検討の課題がある以上は、教団執行部が信条主義的に教団を一元化しようとすれば、合同教会として

の教団形成を断念している」と受けとめられかねないこと、③第35回教団総会の議長総括報告で過去四〇年間の教団の歩みを「荒野の四〇年」とし、十二項目からなる問題点を挙げたことと関連して、北海教区は不十分ながら時代の宣教の使命を担うことをめざして、苦闘してきたゆえにそのような総括を受け入れられないこと、である。結果的に

議長は拍手をもって議長総括を了承した。

二〇〇六年度教務関係報告、各都各委員会並びにその他報告が承認されると共に、歳入歳出決算、教区宣教方針に基づき二〇〇七年度活動計画案、歳入歳出予算案(付分担金配分)、教職謝儀基準改定案が、分科会での審議を経て、原案どおり承認・可決された。

特別決議は「教区機構お

よび財政の改変に向けての作業の継続に関する件」、「アイヌ民族の権利を回復する運動の推進決議に関する件」、「『指紋押捺』の入管法施行、入管法再改悪・外登法改悪に反対し抜本改正を求めることに関する件」の三つが可決された。

【信徒】志賀勉(紫野)、奥野力ネコ(膳所)、谷口ひとみ(八幡ぶどうの木)、原田潔(大津東)、平田眞貴子(平安)、田中義久(洛西)、造田弘司(辻順子報)



札幌教会を会場に総会開催、写真は按手礼式

1

1

2

2

3

3

4

4

5

5

6

6

7

7

8

8

9

9

10

10

宣教方策会議08年度開催へ

第1回宣教委員会

第34総会期第一回宣教委員会は四月九日、教団会議室で開催された。高橋潤委員長、書記に小出望委員を選任した。上田博子前担当幹事より、前期からの申し送り事項の説明と教務会報告を受け、特に注解書刊行の会計処理について確認し承認した。また06年度の仮決算と予算案の説明を受け承認した。

組織が行われ、委員長に高橋潤委員、書記に小出望委員を選任した。上田博子前担当幹事より、前期からの申し送り事項の説明と教務会報告を受け、特に注解書刊行の会計処理について確認し承認した。また06年度の仮決算と予算案の説明を受け承認した。

主な協議事項は次の通り。①障害者差別問題小委員会が今期も設置された。委員長に篠浦千史委員、委員に加藤幹夫、金岡秀樹、軽達昇、鈴木恭子の各氏を選任した。②第35総会期宣教委員会のあり方について時間を割き議論した。③その議論の中で宣教方策会議開催についても話し合われた。

た。委員会の方針が明確でないまま開催するのは無責任になる」との慎重論もあったが、「宣教一五〇年に向けて何かやる」との意見もあり、08年度の開催を決め準備委員を選任した。④次回はキリスト教教育主事養成について話し合うこととした。

困難な中にも希望に満ちて

第2回「新潟県中越地震」被災教会会堂等再建支援委員会

第二回新潟県中越地震被災教会会堂等再建支援委員会が四月一日教団会議室において開かれた。

員は困難な中にも希望に満ちて再建の道を進んでいる。②栃尾教会Ⅱ会堂駐車センター統括主任から被災五教会の近況と再建の課題について報告を受けた。

員は困難な中にも希望に満ちて再建の道を進んでいる。②栃尾教会Ⅱ会堂駐車センター統括主任から被災五教会の近況と再建の課題について報告を受けた。



高橋潤委員長、小出望書記を選任

常設専門委員会と全国教会婦人会連合（自主活動団体）の報告を受けた。教育委員会の報告では、「キリスト教教育主事の養成と認定は、養成学校の合併でどうなるのか」、「教育基本法の改定に対する取り組みについて」質問がなされた。「両者とも、宣教委員会で取り上げるべき」との意見があった。

第二回新潟県中越地震被災教会会堂等再建支援委員会が四月一日教団会議室において開かれた。

員は困難な中にも希望に満ちて再建の道を進んでいる。②栃尾教会Ⅱ会堂駐車センター統括主任から被災五教会の近況と再建の課題について報告を受けた。

員は困難な中にも希望に満ちて再建の道を進んでいる。②栃尾教会Ⅱ会堂駐車センター統括主任から被災五教会の近況と再建の課題について報告を受けた。

員は困難な中にも希望に満ちて再建の道を進んでいる。②栃尾教会Ⅱ会堂駐車センター統括主任から被災五教会の近況と再建の課題について報告を受けた。

伝道の言葉、宣教の言葉

高柳 竜二

以前この教区コラムに「神奈川教区創立四〇周年記念事業として説教集を発行することになった」ことを書いたが、ようやく今年六月の教区総会において配布できる準備ができた。

教区コラム

この四〇年間の歩みは教団の成立の問題、教団信仰告白戦争責任告白、万博キリスト教館出展問題、東京神学大学機動隊導入問題、教師検定・教師養成・教師制度問題などへと向き合ってきた。教区内に

の説教集も同じである。原稿依頼に込められた教職の数も少なからず、これも教区の現実であるし、別に体裁を取り繕おうとは思わない。伝道か宣教か、数か

の説教集も同じである。原稿依頼に込められた教職の数も少なからず、これも教区の現実であるし、別に体裁を取り繕おうとは思わない。伝道か宣教か、数か



資金需要期の対応を練り上げる

①資金需要期の対応Ⅱ見附教会、十日町教会の契約、着工、竣工時に必要となる大口支出が今年に集中することを考えておく。小出教会は二〇〇八年の支出を考

三月十六日、逝去。七四歳。東京都に生まれる。一九五七年同志社大学大学院修了後洛陽教会に赴任。その後早稲田教会牧師、タイ合同神学校で在外教師を務め、七八年から二〇〇〇年



石黒寅氏（隠退教師）



新栄	岩沼	浪岡	柏	瀬戸永泉	熊谷	小倉徳力	榛原	藤枝	枇杷島	伊那坂下	山梨	藤枝	田名部	四日市	長居	愛隣	和歌山	高石
辞主川上憲雄	辞主佐藤政男	辞担川上麻里	辞担安藤博子	辞主益 守栄	辞主中谷 清	辞主山村英幸	辞主菊地啓示	辞主青戸宏史	辞主高岡 清	辞主片山博喜	辞主島 典英	辞主西堀俊和	辞主池迫直人	辞主佐藤良司	辞主市川忠彦	辞主児玉慈子	辞主青戸宏史	辞主大門義和
大和キリスト	就(主)市川忠彦	就(主)市川和恵	就(主)古部莊八	就(主)古部千鶴子	就(主)勇 文人	就(主)楠本史郎	就(主)東島勇気	就(主)南 吉衛	就(主)西堀俊和	就(主)島津慶一	就(主)内田 汎	就(主)内田 汎	就(主)三宅宣幸	就(主)三宅宣幸	就(主)石井道夫	就(主)信岡茂浩	就(主)信岡茂浩	就(主)信岡茂浩
就(主)鈴木義嗣	就(主)市川忠彦	就(主)市川和恵	就(主)古部莊八	就(主)古部千鶴子	就(主)勇 文人	就(主)楠本史郎	就(主)東島勇気	就(主)南 吉衛	就(主)西堀俊和	就(主)島津慶一	就(主)内田 汎	就(主)内田 汎	就(主)三宅宣幸	就(主)三宅宣幸	就(主)石井道夫	就(主)信岡茂浩	就(主)信岡茂浩	就(主)信岡茂浩

宣教師からの声

海外宣教局の使命の終焉を見る

正木 義道

(カナダ、ノックス合同教会宣教師)

WCCの留學生の身分で渡米したのは一九六六年夏であった。一九六八年カナダに移動して研究中、カナダ合同教会(UCC)の国内伝道局(ホーム・ミッション)からマントバ日系人合同教会牧師の職を推薦された。UCCの牧師資格を獲得する事を奨め、また教団に「海外宣教協力教師として承認する」手続きをしてくれた。一九七三年、教団との正式な関係が復活した。「日系合同教会協議会」も受け入れてくれた。以来、日本基督教団の海外宣教協力牧師とし

六五歳で退職せざるを得なくなる。役員会は後任牧師が見つけれず「マントバ日系人合同教会を母屋のKnox United Churchに合同し、宗教法入として発展的解消をする案」を臨時総会に提出した。教会会員の過半数が英語を母国語とする二世である現実に基づく決断であった。日系人合同教会の生命の歴史的危機に際して、教会役員会並びにUCCが日本基督教団に相談した記録は存在しない。一九四二年に国内宣教局の指導によって創立・維持されて、六〇年に渡る日系人社会の精神的指導の役目を買って来たマントバ日系人合同教会は終焉を見るに至った。教会解散決断の知らせは五代目の牧師としての私には、退職後とは言え厳しい痛みであった。

ノックス合同教会は、マントバ州の首都ウィベッグ市の中心に位置し、移住者に対して歴史的にも重要な役割を果たした教会である。一九四二年に日系人強制移動執行後、一九四四年に日系人の市内への移動が許可されると日系人の教会の創立と会堂使用を許した。今回、日本語教会解散の知らせに、教会会員の移転を受け入れると共に、長い伝統を維持すべく正木牧師を退職副牧師として招き「日本語による教会」の継続を依頼する。正木牧師は、月一度の日本語礼拝と牧会配慮を承諾する。日本語を必要とする教会会員は二〇二歳を頭に殆ど八〇歳以上で、礼拝には約二五名が出席される。会員の葬式、青年の結婚式、幼児洗礼は牧師、日常生活の相談は牧

カナダで長期宣教後退職した牧師たちは、教団の恩給・国民年金などの恩恵に浴することが出来なく日本に帰国できない。カナダで死去せざるを得ない。UCCと教団の関係が改善されない限り、カナダに於いては海外宣教局の宣教活動方針も「歴史の終焉」を見たと感じる。Postmodernismに於ける宣教の神学が要求されるであろう。



短期留学中の静岡英和女学院高校生とイースター礼拝で

師夫人の責務となる。

戦前はBC州地区に定着していた日系人は、第二次大戦開始で強制移動により全カナダに分散する。教団はカナダ合同教会の国内宣教局との連絡が緊密であった。歴史的にカナダ日系人合同教会の宣教に教団の牧師が常に奉仕を続けた。分散した日系人の為に国内宣教局は教団に宣教師派遣を依頼した。教団の牧師は立派な二世牧師も育てた。カナダ合同教会協議会を創立した。一九四二年には、一〇教会が設立された。初代の教団牧師たちはカナダで死去。一九七三年に日系人合同教会に七名の教団牧師たちが居た。今日、三名死去。退職牧師五名がカナダに生存永住している。二〇〇七年、カナダ合同教会の日本語による宣教に従事している牧師は、教団宣教師一名、他教派出の牧師二名となった。

- ◆公葬 高校生以上 ◆台湾・長老教会への青年訪問プログラム(7月28日より8月6日まで) ◎内容/現地教会での礼拝、交わり、文化交流を通した、実生活への信仰の適用 ◎自己負担費/現地空港までの往復旅費等 ◎締め切り/2007年6月25日(月) ◎問い合わせ/世界宣教師部 ☎03-3202-0544

- ◆女性神学生奨学金申請受付のご案内 この奨学金は、毎年3月に行われる世界祈祷日の献金から、キリスト教界で女性がその賜物を十分に用いられることを願う、NCC女性委員会が配分するものです。神学を学ぶ女性たちを支援します。 ◎申請締切/5月30日 ◎申請結果/6月末日、書面にて通知 ◎申込・問い合わせ/日本キリスト教協議会(NCC)女性委員会 ☎03-3203-0372

お知らせ

- ★第6回「農」に関する活動者協議会開催/時6月25日(月)14時~26日11時/所II土沢教会/講演II星野正興氏(松崎教会・南豆教会牧師)発題II田中洋一氏(八郎湯教会員、キリスト教農村伝道推進協議会会長)/農

場見学II入江敦氏農場「わらしべ農園」/費用II教区推薦交通費、宿泊費、伝道委員会負担(自主参加、実費自己負担)/オプションII酒匂徹氏のバーマカルチャーによる農場見学/申込・問合せII教団伝道委員会 ☎03-3202-0544

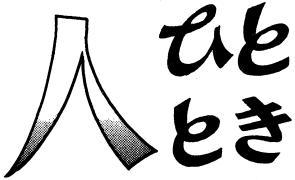
★日本基督教団年鑑二〇〇七年版の追録を発行いたしました/教団年鑑二〇〇七年版においてミスが多少あったことについてお詫び申し上げます。そこで、当年鑑の正誤表、今総会期の常議員会及び教務機関欄を内容とする追録を、年鑑ご購入された方々に差し上げます。年鑑を購入された書店、もしくは教団事務局総務部年鑑係 ☎03-3202-0544に直接お申し込みください。

出版局 ニュース

http://www.bp.uccj.or.jp

- ★新刊から ◎『新版 総説 旧約聖書』監修II池田裕/大島力/樋口進/山我哲雄/旧約聖書学の「今」をこの一冊に凝縮。最新の研究成果を踏まえ旧約全体を俯瞰。また各書の内容・構成、著者・編集者、執筆年代、時代背景、神学的・文学的特徴、神学的・聖書学的論点などをわかりやすく解説。A5判・五七〇頁・七七〇円

- ◎『日本の説教 第II期』全14巻完結/監修II加藤常昭/鶴沼裕子/船本弘毅/〈最終巻〉『榎本保郎』(解説II後宮俊夫) 四六判・二四頁・二六二五円



木村多恵子さん

原点は蝸牛の歩み



1942年生まれ。東京漢点字羽化の会世話人。下谷教会員。

生まれ付きの視力障害のため、五歳で横浜の訓盲院に入寮。それがキリスト教に触れる切っ掛けだった。十年を費して、職業訓練の為に学校を移る事になった。不安の中、夢で「いつも聖書を読むように」と示され、神さまと離れなければならぬ。でも大丈夫との思いを与えられ、転校した。高校入学と同時に足に誘われ教会の門をくぐった。そのまま受洗し、現在に至る。視力障害者の世界は「ひらがな」の世界だ。本を読んでも意味を捉えられない時がある。そのシレンマの日々の中で、漢点字の存在を知る。通信教育で学び初め、遅い歩みではあったが、後から考えるようになった。現在は「東京漢点字羽化の会」で仲間と共に立ち上げ、バランスの指導、養成の講座を行っている。また、視覚障害者の為に漢点字学習会も開催した。

難しい漢文の打ち込みなどもあるため、バランスの募集に応じてくても、挫折する人もいる。「自分の原点は蝸牛(かたつむり)の歩みだった」事を思い、少しずつでも進もうと努力中である。今は日々「漢点字が広がるように」と、折る日々という。漢点字との出会いを神様から与えられた事と感じ、自分にできる、ほんのちよっとのお手伝いがしたいと願っている。

大人になってから漢字を学ぶ苦労を次世代にはさせたくないと思い、漢点字を伝えたいと思うようになった。ボランティアを募ってコンピューターによる漢点字入力業に関わるようになった。現在は「東京漢点字羽化の会」で仲間と共に立ち上げ、バランスの指導、養成の講座を行っている。また、視覚障害者の為に漢点字学習会も開催した。

点字図書目録

(礼拝で用いられる主な点字図書の目録です)

2007 年 4 月 1 日現在		
讃美歌関係		
讃美歌 21 (糸綴じ製本)	2 巻	5,000 円
讃美歌 21 (簡易製本)	2 巻	3,500 円
新聖歌 (糸綴じ製本)	2 巻	5,000 円
新聖歌 (簡易製本)	2 巻	3,500 円
讃美歌第 1 編	1 巻	6,250 円
讃美歌第 2 編	1 巻	1,800 円
交読詩編	2 巻	3,500 円
交読文	1 巻	2,550 円
新聖歌交読文 (口語訳)	1 巻	2,000 円
新聖歌交読文 (新共同訳)	1 巻	2,000 円
新聖歌交読文 (新改訳)	1 巻	2,000 円
こどもさんびか I & II	1 巻	1,500 円
改訂版こどもさんびか	1 巻	2,000 円
聖書		
新共同訳聖書	新約 8 巻	800 円
	旧約 26 巻	2,600 円
	続編 6 巻	600 円
口語訳聖書		
	新約 8 巻	800 円
	旧約 24 巻	2,400 円
文語訳聖書 (点字データ)		
文語訳聖書 (プリントアウト)	5 巻	2,000 円
新改訳聖書 (第三版)		
	新約 8 巻	800 円
	旧約 27 巻	2,700 円

その他、点字雑誌、録音雑誌、入門書、注解書、楽譜等いろいろあります。くわしくは盲伝事務所までご連絡ください。

日本盲人キリスト教伝道協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
tel & fax 03-3203-4219
E-mail moden@mth.biglobe.ne.jp
ホームページ